

長野大学

長野大学キャンパスニュース

Campus News

vol.124

Fits You!
NAGADAI

一人ひとりが、創造力だ。



CONTENTS

【SPECIAL FEATURE 特集】

地域と学びをつなぐ「学生の研究」

Approach【アプローチ】

【REGULAR CONTENTS】

地域 × 研究（長野大学 研究紹介）



地域と学びをつなぐ「学生の研究」 Approach 【アプローチ】

長野大学には、一人ひとりに合った学びを自由に実践できるフィールドがあります。
上田の自然環境や歴史的遺産をはじめ、文化・産業・観光・まちづくりなど
授業や研究活動、ボランティア活動まで、地域とつながって得られる数多くの学び。
興味が湧く分野や取り組んでみたいことが必ず見つかります。



3つの教育の柱で、地域社会から必要とされる人材を育成する

教養教育 (リベラルアーツ)

対話型討論や協働学修により、他人としっかり意思疎通できる能力や、自身で考え・判断できる能力を養成する。

専門教育

企業・組織での仕事や、地域社会での役割を想定しながら、職業人として必要な知識・能力・姿勢を養成する。

地域協働型教育

地域住民、企業・組織と協働しながら、地域社会や企業・組織において必要とされる課題発見・問題解決能力を養成する。

社会の課題につながる学びがある

何のために学び、知識をどのようにいかし、
どのように地域貢献に役立てるかが大切だと長野大学は考えています。
自分が学ぶ分野において、社会では今何が課題となっているのかを探り、
専門的・実践的な学びを行うことで問題解決につなげていきます。

探求する学びがあなたの未来につながる

大学で身につけた課題発見力や問題解決能力は、
いずれ社会人として働くあなたの大きな自信となるはずです。

長野大学を卒業した先輩たちは今、
さまざまなフィールドでそれぞれのスキルを活かして活躍しています。
めざしたい職業がすでに決まっている人も、まだ決まっていない人も、
学びに熱中し、発見し、成長していく喜びを感じながら、自分自身の未来の姿を探してみてください。



須田 咲花さん
 社会福祉学部4年
 (群馬県立前橋商業高等学校)

地域と協働して調査活動を行うことで
 現場を知って研究する意義と
 深く考えることを学ぶ

地域との協働でアンケートの分析・政策提言を行う

長野大学で社会福祉について学ばなか、貧困や母子世帯について関心をもち、社会福祉政策を専門にしている矢野亮教授のゼミに入りました。今は「母子世帯のディーセント・ワークの実現はいかにして可能か」をテーマに研究を進めています。ディーセント・ワークは、「働きがいのある人間らしい仕事」を指す概念です。ひとり親家庭の仕事と子育ての両立は難しく、そこに課題意識をもちました。

研究テーマに関する内容を政策提言につなげるためには実態をなるべく正確に把握する必要があり、アンケート調査と分析に力を入れています。3年次は研究対象の市町村で「世代別生活充足度調査」の分析と福祉のまちづくりに関する政策提言を行いました。今年は、行政機関と協働しながら「最低生計費試算調査」を行っています。地域協議会を傍聴して住民の要望を把握するところから始め、アンケートの設問を練り、回答は統計ソフトを使って解析しました。回答者の生活を細かくヒアリングするため、答えやすい言葉選びや設問の配置などを工夫しました。アンケートを通して、コロナ禍では「家族形成期世代」に子育て・家事・介護



▲調査結果を踏まえた福祉政策について行政機関に提言している様子

ゼミナールの紹介

社会福祉学部 矢野亮ゼミナール

社会福祉政策について、時代や国をこえた比較から政策がどのように行われてきたかを学びます。アンケートをはじめとする調査活動を行い、浮かび上がってきた課題を解決するための政策提言まで考えます。地域に入り協働して研究を行うことで、当事者や行政担当者などさまざまな立場の人と関わることができ、より深く実践的に社会福祉政策を考える経験を積むことができます。

などのケア負担が他の世代と比べると集中していたことがわかりました。今後は、11月に長野県上田市で開催される「公共政策フォーラム2023」に参加し、上田市におけるひとり親家庭に対する支援課題と解決策についてのプレゼンテーションを行う予定です。



社会福祉の研究は一生の財産

研究でやりがいを感じるの、思ってもみなかったアンケート結果が出たり、こんな施策が有効なのではないかと考えたりする時です。また、私の研究のために、行政機関の方が積極的に資料を探してくださったり、知っていることを教えてくださったりしたのはとてもうれしく心強かったです。施策発表にも興味をもっていただき、一緒に研究をしているような感覚になりました。研究を通して、福祉政策は私たちと無関係なところで決まっているわけではないことを知り、身近に感じることができるようになりました。加えて、寛容に物事を受けとめることの大切さに気がついたことも大きかったです。寛容であるためにはさまざまなことを知り、表面的なことにとらわれず深く考える必要があります。困りごとを抱える理由は人それぞれ異なるため、自分の感覚だけで判断したり決めつけたりしてはいけません。この考え方を学べたのは、地域と協働して研究を行ってきたからだと思っています。



盛田 美生さん
環境ツーリズム学部4年
(長野県篠ノ井高等学校)

地域の人の思いと
環境保全への探究心を原動力に
未解明の研究を続ける

地域からの依頼でフデリンドウの生態研究へ

生態学をベースとする高橋一秋教授のゼミで、フデリンドウという植物の生態を研究しています。長野大学がある塩田平には、大小さまざまなため池が多数みられ、その土手に貴重な植物が自生しています。その一種がフデリンドウです。保全活動を行ってきた地元の方から、「個体数が減っているうえ、土手の耐震工事で自生地が破壊されそう」と相談がありました。そこでゼミの先輩が研究に着手して、私がそれを引き継ぎました。研究をスタートさせた当初は、フデリンドウという植物について知らないことばかりでしたが、保全を望む地元の方の力になりたいという思いと、何より探究心を刺激されるテーマだったので研究に邁進することができました。

フデリンドウは絶滅危惧種ではなく普通種です。だからこそ繁殖生態に関する先行研究は少なく、一からその繁殖生態を解き明かし、個体数減少の原因を探っていく必要がありました。分布調査や送粉者(花粉を運ぶ生き物)調査・受粉実験・結実調査など、さまざまな角度から研究を行っています。私は高校時代、理系科目が得意だったので、このような調査や実験はとても性に合っていました。



▲フデリンドウ

ゼミナールの紹介

環境ツーリズム学部 高橋一秋ゼミナール

「里山再生学ゼミ」では、動植物の生活史を紐解く「生態学」と環境問題の解決に貢献できる人材を育てる「環境教育」をベースに多彩な研究活動を展開しています。東日本大震災で被災した海岸防災林の再生をめざす「たねぷろじえくと(被災地里山救済・地域性苗木生産・植栽プロジェクト)」の企画・運営にも取り組みます。長野大学の独自資格「森・川・里の恵みクリエイター」[種・Ⅱ種]も取得できます。



▲発芽状況の確認をしている様子

研究は多くの人の支えで進められる

今年は、同じ花から花粉が運ばれてくると、他の花から花粉が運ばれてくるとでは、種子のでき方に違いがあるのかを調査しました。受粉実験とその種子を用いた発芽実験を進めていましたが、なかなか発芽しませんでした。そこで、解決策の突破口を探るために多くの研究論文を読み、ようやくフデリンドウの発芽に成功した論文を見つけました。その研究者に連絡を取ったところ、アドバイスをいただくことができ希望につながりました。

個体数減少の原因は少しずつわかってきましたが、発芽実験については、まだ十分な結果が出ていません。未解明の部分は、継続した研究が必要なため私も後輩にバトンタッチしたいと考えています。思い通りの結果が出ない時は、研究フィールドや対象は異なるけれど同じ実験をしている仲間がいることで、頑張れたと感じています。手探りで研究を進めていく難しさはありますが、結果が予想通りであってもなくても、知れば知るほど新たな疑問が出てくるところが面白いです。



酒井 柚佳さん
企業情報学部4年
(山形県米沢中央高等学校)

地元企業と連携し
企業イノベーションの論理と
解決策を理論的・実践的に探究する

実践型の事例研究で地元企業の問題解決に挑む

経営学を専門とする森俊也教授のゼミは、イノベーションやマーケティング等の理論研究や、地元企業と連携した事例研究が特徴的です。特に事例研究では、企業が有する課題の現状把握から解決に至るまでを学び、地元企業に実際に提案する貴重な経験ができます。前半は「スタートアッププロジェクト」としてゼミ全体で事例研究をし、後半は理論研究を行います。その後、グループごとに企業と連携し「本プロジェクト」に挑みます。

私が2・3年次の「スタートアッププロジェクト」では、松本市で餃子のEC販売を手がける信栄食品の新規顧客獲得という課題解決に取り組みました。既存商品を分析し新規顧客獲得をめざすべく、安心安全で栄養価の高い餃子のニーズがある対象者を考えました。当初、病院の入院患者を検討しましたが個別に食事制限があるケースを考慮し、同じく栄養価の高い食品を必要とする妊産婦に対象を変更しました。最終的に味付けを工夫し、妊産婦に必要な葉酸やカルシウム等の栄養素を含んだ新商品とその広告デザインを提案しました。この新商品は、葉酸を多く含む松本一本ねぎを活用したもので、同社のヒット商品となりました。



▲企業へ商品の企画提案を行っている様子

ゼミナールの紹介

企業情報学部 森俊也ゼミナール

研究テーマは「企業イノベーションプロジェクト」です。地元企業と連携した事例研究と理論研究を柱としています。「顧客にして欲しい思い」、つまり顧客にどういった思いを体験して欲しいかを問う「思いの経営学」をベースに、成熟期にある企業の課題を特定し、その克服に向けたイノベーションを理論的・実証的に研究しています。



▲新商品「マッスル餃子松本一本ねぎ」のお披露目会にて

商品企画の要である「目的」と「手段」を意識して

「本プロジェクト」では、連携先である味噌メーカーの企業の方に「健康的な体をつくるうえで有益な麺で勝負してみませんか。」と鍋料理にも使える麺を使ったスープの素を提案しました。先方からは、「その発想はなかった。商品開発部門に持ち込んでみます。」と前向きなお言葉をいただきました。何度も議論を重ねて提案したので、とても嬉しかったです。ゼミでの実践的な学びを通じて、企画をする上で大切な商品企画そのものの目的と、それを達成するための具体的手段を区別して提案することができました。

成熟企業の理論研究をもとにした事例研究は、私自身の論理性や創造性を鍛える絶好の機会です。また、メンバーと重ねた幾度もの対話からは、多面的な視点を身に付けることができました。メンバーから出た予想外の案で視野が広がるなど、よりよい提案に向け考える過程は何にも代えがたい楽しさがあります。限られた残りの大学生活の中で、企業と顧客との「思い」をつなぐ研究提案を引き続き行っていきたいです。

地域×研究

長野大学では、長期的展望に立ち地域から世界につながる多様な独創的研究を推進することを大学ビジョンのひとつとして掲げています。
こうしたビジョンの実現に向け、長野大学の教員は、地域を主題とする研究の深化と教育・地域活動への活用を日々実践しています。





数式や理論で表現する
0と1の間にあるあいまいさを

企業情報学部
三石 貴志 教授

【主な担当科目】
・アルゴリズムとデータ構造
・コンピュータアーキテクチャ
・情報セキュリティ



「誰にも相談しない」若者が
助けを求めるには？

社会福祉学部
佐藤 修哉 准教授

【主な担当科目】
・学校心理学(教育・学校心理学)
・心理演習Ⅰ
・心理実習Ⅰ 等

◆コンピュータは「だいたいこれくらい」が苦手

大学時代は数学科で学び、大学院で情報を専攻しました。そこで出会ったのが「ファジィ理論」です。ファジィとは、ものごとの境界がぼやけてはっきりしない、あいまいな状態を指します。人間にとってはなじみ深い「多い」「高い」「だいたいこれくらい」というあいまいな感覚は、0と1の数字でしか認識できないコンピュータをはじめとしたデジタルの世界では扱いが難しいのですが、それをコンピュータに理解させようと、1960年代にアメリカで登場したのがファジィ理論です。私が研究しているテーマは2つあり、ひとつはファジィ制御における最適化問題を数学で解くというものです。もうひとつは、数学などの証明が正しいかどうか、ソフトウェアで自動的に検証できる形式化数学の国際的プロジェクトに参加しています。授業では、「アルゴリズムとデータ構造」「情報セキュリティ」といった情報工学関連の科目を担当しています。

◆AIの進化を支えるファジィ理論

デジタル世界における人間的な思考で話題のChatGPTなど、AIのひとつの分野としてファジィ理論があります。これまでファジィ理論が応用されてきたのは、たとえば汚れがよく落ちる洗濯機や快適なエアコンなどの家電の制御や音声入力といった私たちの暮らしから経済分析などの産業まで多岐にわたります。実際に私は過去に、VRにおける三次元設計を研究している研究者と共同で、自動車のステアリング制御を研究したことがあります。

あらかじめ定められたルールがあり、入力することで決まった出力が行われるコンピュータとの付き合いを、より人間同士のやりとりと近づけていく鍵としてファジィ理論は注目されています。膨大な情報を読み込む機械学習で人間特有のあいまいさをコンピュータに再現させることも可能になっていますが、読み込んだ情報からどうやって判断しているのかはブラックボックスです。そのブラックボックス、つまり判断に至るプロセスを解き明かして自動化するという点でも、ファジィ理論は有効です。

◆伝統工芸や農業の技術継承にも役立つ可能性

理論研究ということもあり現状では地域の団体や企業との連携は行っていませんが、アイデアとしては人の微細な感覚が求められる伝統工芸や農業・産業の技術をファジィ理論で定式化し、自動化・無人化するといったことを考えています。職人技はいい意味で感覚的な部分が多分にあり、自動化・無人化することに課題があります。このように後継者が限られ、途絶えてしまうと復活が難しい領域で、ファジィ理論の考え方が解決の一助になるのではないかと期待しています。

ゼミでは現在、ファジィ理論を使った研究をテーマに着手しようとしています。この研究を通して、学生には問題解決をあきらめない力を身につけてほしいと考えています。またあらゆる面で、数年単位の長いスパンでもこの一瞬においても、自分自身と周りの状況を的確に把握して、自分が今何をなすべきかに気づくことができるようになってほしいです。

デジタルやAIが発展している現代で、さまざまな理論のベースにある数学は重要性を増しています。解を求めるだけでなく、プロセスを支える考え方が大切です。「なぜそうなったのか?」ということを考えてみてください。問題解決をあきらめない力につながります。高校生活の3年間も大学生活の4年間もあつという間に終わります。勉強はもちろんですが、勉強以外の大学生活で何がしたいのかも、今のうちによく想像してみてください。

三石教授
からの
メッセージ

◆違和感が研究を進める力になる

私の卒業論文のテーマは、「クライアント(相談者)の自己開示」で、クライアントが話しにくいことが話しやすくなるためには何が必要なのかを研究しました。大学院に進学し、同じテーマに取り組む予定でしたが、このまま進めていいのか違和感がありました。そんな時に先行研究で、「メンタルヘルス・リテラシー」という用語に出会いました。これは、「予防」をはじめとした、心の健康に必要な正しい知識と適切な考え方を指します。特に、自分自身の状態に気づくことができることとスティグマ(偏見)を減らすことが大切だと言われています。つまり、話す・話さないの問題の前に、必要とする社会資源(医療機関やカウンセリング等)にアクセスできない・したくない人が多くいるという問題があり、そのハードルを下げるのが大切だという思いに至りました。

その後学校現場で、メンタルヘルス・リテラシーの研究を進めましたが、一定の効果は確認されたものの、まだ不十分だと感じていました。この違和感がきっかけとなりたどり着いたのが、「コンパッション」という用語です。コンパッションは慈悲の心や思いやりなどと訳されます。自分や他者に向けるコンパッションに焦点を当てることで、自分や他者のメンタルヘルスにも良い影響が生じると考えました。

◆予防のため教育領域をフィールドに

メンタルヘルス・リテラシーとコンパッションを両輪として、予防に力点を置いた研究を続けています。なぜ予防が大切かという

と、精神疾患や心の健康の問題は、放置すると重症化することも多いからです。予防には、できるだけ若い層を対象とする必要があることから、学校教育領域を主たる研究としています。先行研究では、中高生を対象としたアンケートで、困ったことがあっても「誰にも相談しない」を選択した人がもっとも多かったという結果が示されています。これを改善するために特に重視しているのは、先にも述べた「自分の状態を客観的に見られる」とことと「スティグマ(偏見)を減らすこと」です。そもそも人に助けを求める必要のある状態だと認識できなければ、相談しようとは思いません。スティグマ(偏見)は助けを求める行動の足かせになります。

◆興味関心や問題意識を明らかにして研究する

現在、地域の学校でスクールカウンセラーとして実践活動も行っています。学校教育領域以外にもさまざまな領域で臨床経験を積んでいます。授業では、守秘義務に配慮しつつ、この臨床経験をいかした現場での経験等を、できるだけ学生に伝えるようにしています。そして、私の話から、学生には少しでも具体的なイメージを持ってほしいと思っています。

心理学は目に見えない心を対象にした学問なので、自分自身の興味関心や問題意識を明確にして研究を進める必要があります。学生には、科学的な思考力と論理的な文章を書く力や自分自身で収集した情報を活用して考える力を身につけてほしいと考えています。簡単に答えが出ない問いに、粘り強く取り組む過程をぜひ楽しんでほしいです。

高校生のうちは、基礎的な学力の向上にぜひ取り組んでください。すべての科目を意欲的に学んで欲しいですが、どの道に進むにしても、特に国語・数学・英語は重要です。大学入学後に調査・研究を充実させるために活字に触れることや長い文章を読みこなす練習にもぜひ取り組んでください。また、心理学を学ぶ「タネ」は日常にあふれています。さまざまなことに知的好奇心をもちながら日々の生活を送ること自体が「学び」になります。

佐藤准教授
からの
メッセージ

Pick up! Campus Life

早坂ゼミナール

社会福祉学部4年

左:大木さん
(神奈川県立大磯高等学校出身)

社会福祉学部3年

中:手塚さん
(長野県上田染谷丘高等学校出身)

右:森山さん
(長野県上田染谷丘高等学校出身)



早坂淳教授のゼミでは、教育現場をフィールドに子どもたちの「多様性」と「協働」をテーマに学んでいます。私たちは、学校と地域という子どもたちの居場所に着目し、役割の異なる学校と地域のつながりをめざし活動をしています。それぞれの立場から「子どもたちの幸せ」を実現するために、地元の上田市立浦里小学校と連携・協働して「こまゆみ教室」という地域学校協働活動を企画・展開し今年で8年目を迎えました。今年は、子どもたち自身が「自らやりたいことを表現する」ことを目標に、遊び・表現・協働という3つのステップを構築しました。

この活動を通して現場で起こる事象に疑問を抱き、その疑問を大学に持ち帰って仲間と共有し学びを深めていく過程は、学びの面白さを体感できとても充実しています。多様な価値観に触れながら引き続き協働して、「子どもたちの幸せ」を実現するために取り組んでいきます。



入試情報

一般選抜

試験区分	募集人員	願書受付期間 (消印有効)	試験日	試験科目・配点	試験会場
前期	社会福祉学部 50名	2024年 1/22 (月) ～ 2/2 (金)	個別学力 試験を 課さない	大学入学共通テスト4科目600点満点に 業績点4点満点を加え、合計604点満点で判定 ●大学入学共通テスト 【社会福祉学部】 ・「国語」(200点)必須 ・「外国語」(200点)必須 ・「地理歴史」、「公民」、「数学」、「理科」の受験した科目の 中から上位2科目(100点×2=200点) 【環境ツーリズム学部】【企業情報学部】 受験した科目を100点満点換算し、上位4科目(100点 ×4=400点)を活用する。4科目の上位2科目をそれ ぞれ2倍して200点満点とし、残り2科目をそれぞれ100 点満点とする。 ※国語と外国語は200点を100点に換算する。 なお、同一教科の2科目でも有効とする。「理科」の「基 礎」を付した科目については2科目で1選択とする。	—
	環境ツーリズム 学部 37名				
	企業情報学部 37名				
公立大学 中期	社会福祉学部 25名	2024年 1/22 (月) ～ 2/2 (金)	3/8 (金)	大学入学共通テスト4科目と個別学力試験2科 目の合計点計6科目400点満点に調査書10点 満点を加え、合計410点満点で判定 ●大学入学共通テスト 受験した科目の中から上位4科目(50点×4=200点)。 なお、同一教科の2科目でも有効とする。「理科」の「基 礎」を付した科目については2科目で1選択とする。 ※国語と外国語は200点を50点に、他の科目は100 点を50点に換算する。 ●個別学力試験 ・「国語(国語総合)」必須 ・「英語(コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ)」、 「数学(Ⅰ・A)」の2科目から1科目を選択 計2科目各100点 計200点	本学 長岡 東京 福島 名古屋 富山
	環境ツーリズム 学部 20名				
	企業情報学部 20名				

※大学入学共通テスト実施日: 2024年1月13日(土)・14日(日)

※詳細については、学生募集要項でご確認ください。

インターネット出願のご案内

すべての入試区分においてインターネット出願を行います。



◆インターネット出願の特徴



インターネット出願は願書の取り寄せが不要です。出願はホームページのインターネット出願ページから行ってください。学生募集要項は長野大学ホームページから直接ダウンロードできます。



インターネット出願中は24時間受け付けています。出願期間中はいつでもどこからでも出願可能です。入学検定料は、コンビニエンスストア・クレジットカード・銀行ATMでのお支払いが可能です。



インターネット出願は画面表示に従って必要事項を入力するだけです。もし記載ミスがあっても自動で入力内容がチェックされますので、記入漏れの心配がありません。

※インターネット出願完了後、志願票を印刷して必要書類とともに提出してください。
すべての手続きがインターネット上で済むわけではありませんのでご注意ください。

長野大学 教育改革シンポジウム

情報系学部の設置構想と次代を生き抜く人材育成

事前
申込制

日時
2023
11/26日
13:00-16:00 (開場12:15)

会場
長野大学9号館3階
リプロホール

対象
企業・自治体関係者、
大学生、高校生、
地域の方等どなたでも

詳細はこちら



発行 2023年10月

〒386-1298 長野県上田市下郷658-1
 (教育グループ 広報入試担当)
 TEL : 0268-39-0020
 mail : kouhou@nagano.ac.jp
 ホームページ: www.nagano.ac.jp



Fits You! NAGADAI

長野大学は「あなたに」フィットする大学です。
 めざす目標、深めたい学び、大切な出会いなど、「あなた」と、
 あなたの望む「未来」を引き合わせます。一人ひとりが創造力
 となって、自分らしく未来を生きていく。そのきっかけが長野
 大学であってほしい願いを込めたキャッチコピーです。